

【面接官の印象】

1. 外国人面接官(以下 NS)について
30代の白人男性。好青年。テレビ英会話の講師の様な感じ。イギリスアクセントやアメリカアクセントはなかった。
2. 通訳ガイド(以下 TG)について
30代の日本人女性。非常に感じの良い人。英語は、ネイティブレベル。

【面接試験の実際】

最初に、名前と試験番号の質問があった。

1. 通訳試験について

出題された文章	「1964年 東京オリンピックが開催され、新幹線が開通した。当時新幹線は世界最速で、世界から注目をあびた。現在新幹線は建設中で、完成すると日本の全国主要7都市をつなぐことになる。」(記憶している限りです)
---------	--

2. 2分間プレゼンテーションについて

TG	3枚のカードを渡してくれました。 「東北大震災 2011年3月11日の震災状況について」 「日本の古典芸能について」 「居酒屋について」
I	「居酒屋について」を選択しました。 「居酒屋について」を選択したのは、「東北大震災」に関してはノーマーク。「古典芸能」に関しては、勉強したが、覚えたこと以外に回答ができない可能性がある。「居酒屋」は、問題として、全く想定していなかったが、日頃の自分の生活の一部で、なんでも話せると思ったからです。 プレゼンした内容は、 ① 英語で Public Bar ② 駅前にある ③ 大衆的な side dish ④ 値段が安い ⑤ 明朗会計 ⑥ 一般の日本人の生態を見ることができる 等 思いつきで話しました。 よって、話はできましたが、思いが先にたって、文法が不正確になったと危惧しています。

3. 質疑応答について

質問内容	「旅行者にどんなレストランを推奨するか？」 「日本を理解する為に何処に行くことを奨励するか？」
------	--